機械器具３２
電動式吸引用ポンプ（コード：36616040）
管理医療機器

吸　　灸

特定保守管理医療器

【警告】
（１）動作中のポンプや連結ベルトに触れないこと。
（２）空気の通りがよい固い床面に水平において使用すること。
（３）分解して内部の部品に手を触れたり、改造しないこと。

【禁忌・禁止】
適用対象における禁忌
（１）ペースメーカー及び金属性止血クリップ使用者には、誤作動を招くおそれがあるので、併用しないこと。
使用方法における禁忌
（１）耳や口、目、鼻、粘膜に直接当てての施療は行わないこと。
（２）キズがついた吸着具は、使用しないこと。
（３）水泡・瀉血行為を行わないこと。

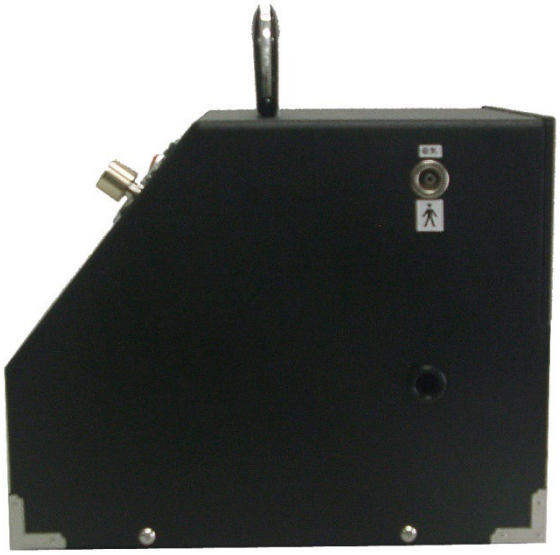
【形状・構造及び原理等】
１．構成・外観



取扱説明書を必ず参照する

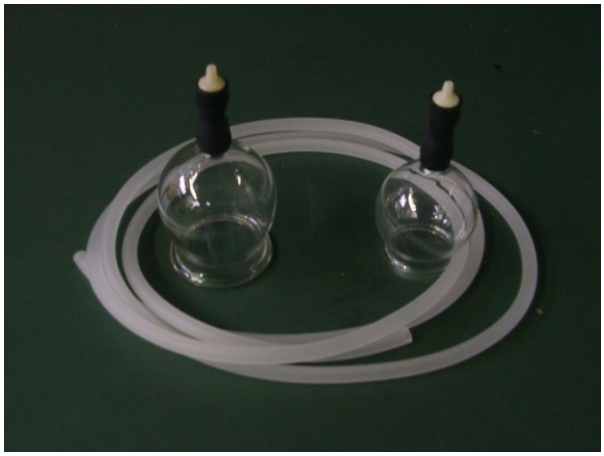
（１）本体：寸法（ｍｍ）210（幅）×260（高さ）×293（奥行）　　重量　８kg



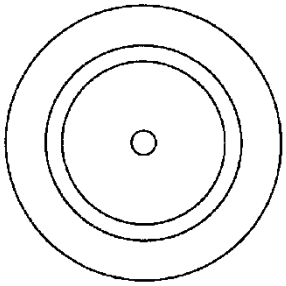




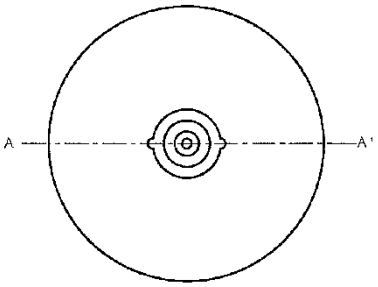
（２）吸着具（別売品）



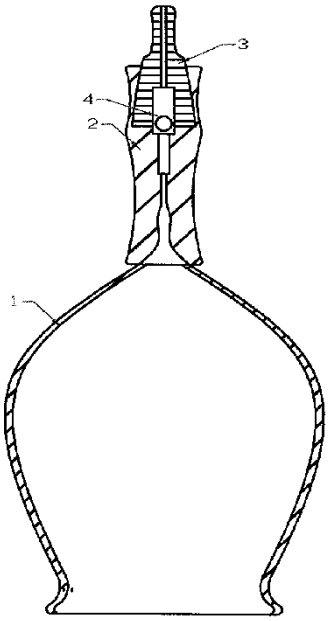
吸引ホース；５ｍｍφ×９ｍｍφ×２ｍ



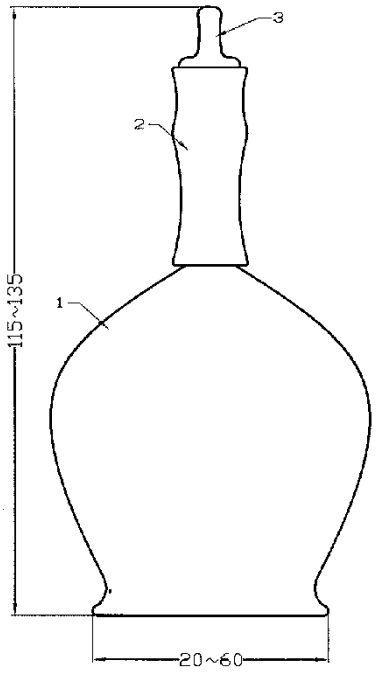
底面図



平面図



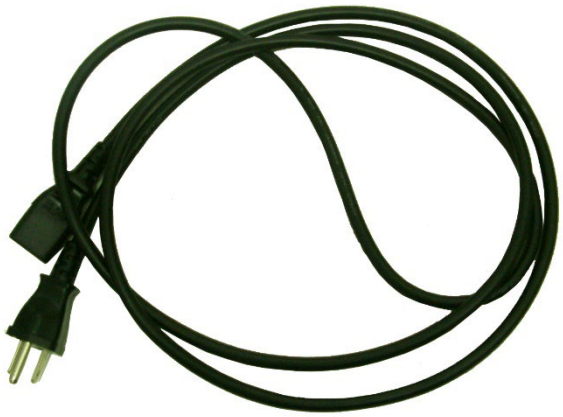
A-A´断面図



側面図

番号	名　　称	番号	名　　称
1	本体	3	ゴム管接続口
2	ゴム	4	バルブ球

（3）電源コード（付属品）：長さ２ｍ



２．動作原理・各ユニットの機能

（1）動作原理

モーターで油回転式真空ポンプを回転させ、その吸気側につないだ吸引ホースの先端に吸着具をつけ、それを皮膚に付着させるとき、皮膚に陰圧を与え、皮膚神経に刺激を与える。

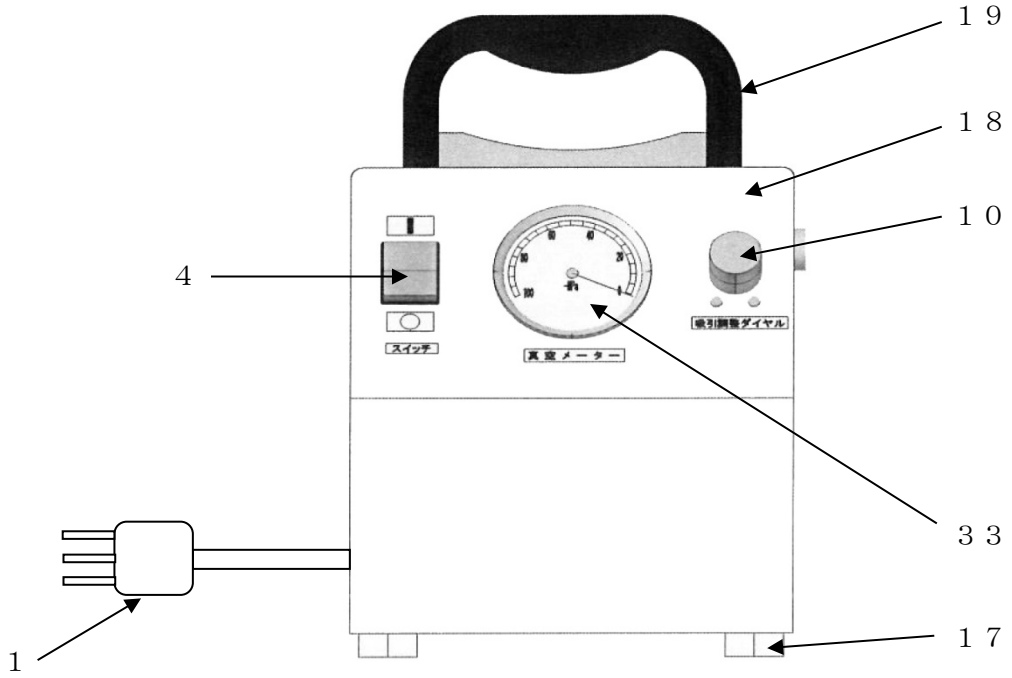
（2）各部の機能

名　　称		機　　能
（1）本体	本体ケース	木製の組み立て品で、持ち運びするための取手が上面に取り付けてあり、前面に電源スイッチ（電源表示燈)、真空メーター、吸引圧調整ダイヤル、裏面に排気ニップル、側面に電源口、吸気ニップルを設け、底部で本体底板と固定されている。
	吸引ホース	真空ポンプ、消音瓶、ろ塵瓶、吸引ニップル、排気ニップル、吸着具、真空メーターの吸排気系統を繋ぐもので塩化ビニール樹脂製チューブ。
（2）吸着具		皮膚に付け治療するためのもので、ガラス製コップに弁の働きをするバルブ球を入れた樹脂製ゴム管接続口が差し込んであり、本機器の吸引ニップルと吸引ホースで繋ぎ使用する。

３．電気的定格

（1）定格電圧　　：　100V
（2）電源周波数　　：　50 － 60Hz
（3）電源入力　　：　50VA
（4）電撃に対する保護の形式　：　クラスⅠ機器
（5）電撃に対する保護の程度　：　B 型装着部
（6）電磁両立性（EMC）　：　JIS T0601-1-2：2018 適合

４．外形図



番号	名　　称	番号	名　　称
１	電源コード	１８	本体ケース
４	器体照光スイッチ	１９	把手
１０	吸引調整ダイヤル	３３	真空メーター
１７	ゴム足		

【使用目的又は効果】

カップを皮膚に固定させるための吸引にもちいること。

【使用方法等】

詳細については取扱説明書の各項目を参照する。

１．操作方法

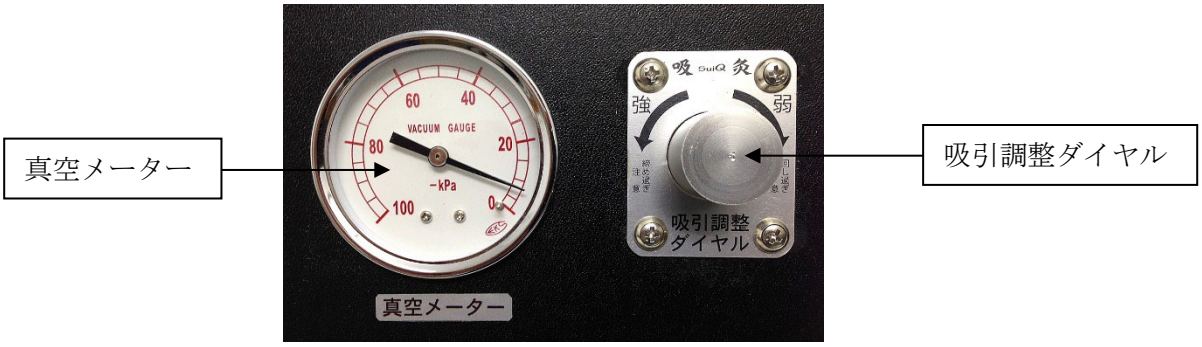
(a)　電源コードを電源（１００Ｖ）につなぎ、スイッチを入れランプが点灯することを確認する。

(b)　真空ポンプが作動することを確認する。

(c)　吸引ホースを吸引ニップルに取り付ける。

(d)　吸引ホースの先端に吸着具を取り付け皮膚につける。

(e)　吸着具が皮膚についたら、真空メーターを見ながら吸引調節ダイヤルを左方向へ回転させる。



(f)　適度の数値を真空メーターの針が示したところでダイヤルを回すのを止め、吸着具から吸引ホースを外し、適度の時間吸着させておく。

(g)　吸着具の外し方

吸着具を皮膚から離す場合は、吸着具上部の吸引弁のゴム部分を指先で軽くつまみ、静かに外す。吸引弁のゴム管を強くつまむと、吸着具の中に急激に空気が入り、皮膚に痛みを感じるので、静かにつまむ。また、皮膚からもぎ取るように外しても痛みを感じるので、自然に静かに外す。

２．使用後の処理に関する事項

(a)　電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

(b)　コード類の取り外しに際しては、コードを手に持って引き抜くなど、無理な力をかけないようにする。

【使用上の注意】

（１）閉め切った室内で使用する場合は、時々換気を行う。

（２）室温が極端に低い場合（０℃以下）、皮膚に吸着具をつけ、吸引圧をあげていったとき、ポンプが止まるようなことがあったら、油温が下がりすぎたことが原因。吸着具をつけないで空運転を５分位おこない、ポンプが回転することを確認後施療を再開する。

（３）裏面にある排気口は、絶対にふさがないようにする。

（４）吸着具は必ず弊社指定のガラス製吸着具を使用する。

吸着具は硬質ガラス製で、普通のガラス製品より割れにくくはなっているが、コンクリート、床等の固い所に落とさないように注意する。

（５）少しでも気分が悪くなったら、施療をただちに中止する。

（６）吸引ホースにゴミが詰まった場合は、すぐに電源を切り本体から吸引ホースを取り外し、ゴミを取り除く。

【使用方法に関する使用上の注意】

（1）１回の施療時間は、３０分以内が適切。

（2）真空メーターの目盛りは２０～３０ を目安にし、慣れるに従って徐々に吸引力を上げる。
但し、吸引力が弱い場合、重みで吸着具が落ちる場合がある。

（3）他の全ての医療機器と同様に使い方次第では、下記のような危険な状況を招くので、注意するとともに、安全で快適な施療を行う。

(a) 吸着具を耳や目に当てない。
耳や口、目、鼻、粘膜に直接当てての施療は行わない。鼓膜や口腔などを損傷する事故が発生する可能性がある。

(b) 濡れた手で操作しない。
電気製品なので、濡れた手で操作すると感電する恐れがある。

(c) 適正な吸引圧と施療時間
体調が思わしくない場合、強めの施療を長時間行うことにより、皮膚に強い反応や損傷を生じさせるケースがあるので、吸引圧及び施療時間は、無理のないレベルで適切に行うようにする。

【保管方法及び有効期間等】

（1）本器は水平を保ち、逆さにして輸送しない。

（2）その他、本器を輸送・保管する場合は次の事に注意。

(a) 水のかからない場所に保管する。

(b) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気により、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管する。

(c) 水平で、振動、衝撃（運搬時も含む）などのない場所に保管する。

(d) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しない。

(e) 保管環境は、周囲温度５～３５℃、相対湿度３５～８５％。

（3）付属品の吸引ホースは消耗品なので、吸引ホースの消耗破損状況をチェックし、適宜交換する。

（4）耐用期間 5 年以上（正規の定期点検/オーバーホールを実施した場合）

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書に記載の“点検・整備”“チェックリスト”などを参照する。

（1）使用者による保守点検事項

(a) 吸着具は、利用１回ごとに消毒用アルコールにて殺菌・消毒し、清潔を保つ。

(b) 吸着具の薬液などでの清掃は、吸引弁のゴム等の劣化等につながるのでしない。

（2）業者による保守点検事項

(a) １年に１回、定期点検を受ける。

(b) ３年に１回、オーバーホールを受ける。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社ジェイシーエヌ　　℡　052-914-8983

吸 SuiQ 灸®

http://www.kirishima-kurozu.jp

2023.12 改